今月の内容
・大塩孝信会長のご挨拶（1面）
・お題目の道を歩む（2面）
・日蓮大聖人の歩まれた道（3面）
・新年のご挨拶（4・5面）
・おらが寺の守護神（6面）
・岩田先生の心も体も生き生き!（7面）
・よろこび法話（8面）

日蓮聖人750遠忌
令和13年（2031年）

よろこび

聖徒のための情報誌

第155号
2024年（令和6年）
1月1日（月）
1月号
発行所
日蓮宗全国霊断師会連合会
会　長　大塩孝信
編集人　吉田憲由
購読料 1部 100円（税別）
毎月1回1日発行

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ
www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこびウェブ
検索

お題目の道を共に歩んでまいりましょう

日蓮宗霊断師会連合会会長
千葉県市原市　正蓮寺聖徒団長
大塩 孝信

新年挨拶・及び抱負

明けましておめでとうございます。令和五年十月二十一日（土）二十二日（日）一泊二日にて第五十八回全国聖徒団結集身延大会が、四年ぶりに二十八聖徒団、三百名程のご参加を得て盛大に開催されました。ご参加の皆さま方誠にありがとうございました。

一日目は、法主猊下に御目通りさせて頂き、いつも会の団参を喜んでお迎えくださり、貴重なお話を丁寧に、借景の美しい応接間にて賜りました。その後、御廟所にて会長・副会長役員らがお経を唱える中、参加聖徒団の皆さまには、流れ参拝をして頂きました。

夕方より希望者には、五百円にて腕輪数珠作成体験をしていただき、山門には、大森委員長が新たに考案された竹明かりが美しくひかり、町衆の協力により万灯・太鼓の体験もでき、更に夜空には花火がきれいに久々の聖徒の皆さまのご参加を祝うかのように大輪の花を咲かせて下さいました。

二日目は、本堂内にて団旗観閲式が行われ、持田総務猊下より輪番奉仕のご委嘱を会長の私が賜り、ご挨拶の中では、当会で発刊した御書を大変おほめ頂き誠にありがたく恐縮しておりますが、我々の会が一生懸命努力していることをお認め頂き、誠に有難く感謝申し上げます。

参加者全員で身延山御本堂にてお経お題目を唱え、本年も大本山中山法華経寺での大荒行堂の正伝師をお勤めいただく若松伝師様を修法導師にお招きして、全参加者に御祈祷をお願い致しました。

久しぶりに聖徒団の皆さまと共に身延大会が開催でき、総じて総本山様や町衆の皆さま、ご参加の皆さまにも好評でありましたが、反省点も沢山あります。

例えば

一、一日目のタイムスケジュールでは遠方からお見えになる聖徒団には余裕がない
二、団旗観閲式の在り方の再考
三、法話の復活
四、散華奉呈の再開
五、本堂内に入ってからの企画等々

来年からは、身延大会の実行委員会を作りより良い方法で運営していく様致します。

皆さまのご提案があればお知らせ下さい。どうぞこれからも身延大会は大切な行事です。皆さまで、宗祖日蓮大聖人様に御目にかかりに参りましょう。

合掌

九識霊断法相伝所　伝主
富山県富山市　利生寺聖徒団団長
末吉 觀道

新年のご挨拶

全国聖徒の皆さん新年明けましておめでとうございます。新しき歳を迎えると、新しきことに希望を抱く気持ちがふつふつと湧いてきます。皆さんも晴れがましく厳かに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また過ぎにし一年間、皆さんがされた信仰生活のご精進に深く敬意を表するものであります。

年頭に、聖徒団身延大会のことが頭をよぎります。昭和四十年結成大会以来一回も欠かすことなく開催されてきた大会が、コロナ禍により三年間皆さんと共に開催することが出来ませんでした。昨年はどうにか開催出来ましたがコロナ禍以前のような盛り上がりはありませんでした。でも、本年からはコロナ禍以前より更に大きく飛躍した、御題目信仰者の盛大な大会になることを期待して止みません。そのためにも南無妙法蓮華経の道を持ち・行い・護り・弘める信仰を皆さんと共にしっかりと精進していきたいと存じます。

さて、私たちが毎月着帯しています倶生神月守は壽量御本佛の救護を頂き、明るく豊かに生活する為の証の符です。ですからこの倶生神月守を着帯し御題目を唱える人が今より一人増えれば一人分、百人増えれば百人分、千人増えれば千人分、世の中が明るくなっていくのです。そして日本国中世界中の人たちに着帯が広まれば、世界中が明るく豊かになり、この地上に浄土が誕生してくるのです。聖徒の皆さんは正に壽量御本仏の仏使であります。本年も仏使としての役目を果たしてくださいますようお願い申し上げます。家庭を豊かに、社会を明るく、国家を安泰に、世界を平和に導くため、日蓮大聖人のみ教えを色心（体と心）共に学び実践し頑張りましょう。

合掌

正月元旦　午前０時　祈祷会
１月16日(火)　午前９時半より
「正月御本尊祭」
１月28日(日)　「盛運祈願会」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住　職　工藤 堯慎・院　首　工藤 堯幸

妙正寺聖徒団
笠原明男さん・美重子さん
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町２丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされる よろこび
常唱寺　聖徒団
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 佐野 **妙顕寺**
日蓮大聖人御真骨奉安

貫首ご法話「ニッキチャンネル」
齊藤日軌貫首の著書＆ＣＤ

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山
感通寺聖徒団
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

お題目の道を歩む
～倶生神月守と共に～

「霊断法のお導き」

新潟県新発田市　法華寺聖徒団（本田義昌団長）

「父」刑部政弘さん

「双子の娘」時田裕美さん　山崎直美さん

九識霊断法と出会ったのは今から十数年前のこと。最初はお父様の刑部政弘さん。膝が曲がらず椅子での生活が強いられる中、お医者様に診てもらっても原因不明。そんな折、風の噂で聞いた九識霊断法。

　藁にもすがる思いで法華寺の門を叩いた。霊断法を行って御教示いただいた指導に従い、御先祖様に御回向を捧げ、ご自宅の仏壇と神棚に祈りを捧げる。お給仕の仕方や改善点も指導。摩訶不思議なこともあるものだ！長年、苦しんだ膝の痛みが改善され、明くる日の朝には正座が出来るようになったのだ。

　その後も双子の娘、時田裕美さんと山崎直美さんはご家族の当病平癒や子供の成長、新築家屋の家祈祷など、九識霊断法によって進むべく道筋が顕れ、そのお導きに助けられている。

　あの出来事以来、刑部さんは毎月の盛運祈願祭には欠かさずお参りなされ、娘の時田さん山崎さんもお子様を連れて「取り子の御祈祷」のお礼参りにと鬼子母神さまの御縁日、末広がりの「八」の日にはお参りを欠かさない。

　今ではご家族中、朝起きては「今日も一日よろしくお願い致します」と御題目。

　就寝前には「今日も一日ありがとうございます」と手を合わせ、御題目をお唱えになるそうだ。

宗門史跡・常國寺聖徒団 第七回 清道衆講習会開催

広島県福山市　常國寺聖徒団（濱田壽教団長）

熱く語る吉田講師

　九月二十七日、広島県福山市の常國寺聖徒団に（濱田壽教団長）に於いて、吉田憲由講師を迎え、第七回清道衆講習会が開催された。参加人数は、六十二名。講義では吉田講師が、「どうしたら幸福への道を開けるか」について、テキスト「よろこび」を基に、日蓮大聖人のご生涯、九識霊断法、倶生神月守の話を通して分かりやすく伝えられた。参加者は、学びや気づきを得て充実した清道衆講習会となった。

（広島県通信員　堤祐弥）

［感想文］

柳井正行さん

　年を取ると色々なお話を聞いても中々理解できないことが多いのですが、吉田先生のお話はとても分かりやすく心に響きました。その中でも一番心に残っているのが、〝おかげさま〟の気持ちを持つことが大切であるということです。我が身を中心にすることが多い中で、今後はこのことを意識して暮らしていきたいと思っています。有難うございました。

三谷博子さん

　この度は五回目の清道衆講習会を受講させて頂きました。一回目は先輩に背中を押されての参加でしたが、回を重ねるうちに、人生を振り返ることをあまりせず、目の前の忙しさに流され、あたふたと生活をしている自分に反省の念を抱くようになりました。これからは、今まで出会った沢山の人とのご縁を大切に、悔いの残らない人生を送れるよう精進したいと思っています。分かりやすく細やかに御指導頂き、大変ありがとうございました。

森賀洋幸さん

　今回の講義を受けて、健康に満足し、経済に満足し、環境に満足することを学びました。心の宝を大事にし、精神の安定した豊かな生き方をしたいと思いました。日蓮大聖人伝を学習させて頂き、南無妙法蓮華経とお題目を唱えて、心の安らぎを得たいと思いました。『立正安国論』を奏進され、法難を受けられた話を聞いて、もっと『立正安国論』を学びたいと思いました。

三谷憲治さん

　今回初めて講習会に参加しました。自分自身の精神的安定のための修養が大切であると心に刻みました。自分も周りの人と接して、共に心豊かな社会になるよう、貢献しなければと感じました。次の講習会を楽しみにしております。ありがとうございました。

岸田幸則さん

　日蓮宗の教えを日常生活とマッチングさせ、分かりやすく噛み砕いて教えていただきました。その内容は宗教布教を主としたものでなく、私たち一人一人が人として平和で安心して生活していく上でどのような言動必要であるか、指針を提示され、徳信と感動を受けました。また多くの人が先生の講義を受講されることにより、犯罪や喧嘩、憎しみ合い、そして戦争のない過ごしやすい世界が構築されることを強く感じました。今後も機会ある度に他の人も勧誘し受講したいと思います。

教誌「よろこび」百部以上ご購読ありがとうございます。

都道府県名	聖徒団名	御芳名
埼玉県	龍音寺聖徒団	齋藤　龍健
愛媛県	本妙寺聖徒団	村口　泰慈
宮崎県	龍雲寺聖徒団	吉田　憲由
東京都	長栄寺聖徒団	光枝　浩生
神奈川県	本典寺聖徒団	戸田　教栄
千葉県	正蓮寺聖徒団	大塩　孝信
千葉県	妙照寺聖徒団	瀬川　観常
岐阜県	常唱寺聖徒団	阪口　慈幸
愛知県	本覚寺聖徒団	伊藤　守温
愛知県	妙泉寺聖徒団	石黒　泰良
滋賀県	常昌寺聖徒団	早瀬　光玄
兵庫県	圓融寺聖徒団	山口　忠信
島根県	妙法寺聖徒団	蔵本　知宏
長崎県	大光寺聖徒団	大野　光法
宮崎県	本東寺聖徒団	吉田　海心
福島県	経王寺聖徒団	中田　憲孝
青森県	聞法寺聖徒団	工藤　堯慎
百五十部以上ご購読		
富山県	利生寺聖徒団	末吉　觀道
千葉県	顕本寺聖徒団	小泉　輝泰
岩手県	法華寺聖徒団	阿部　是秀
二百部以上ご購読		
栃木県	妙福寺聖徒団	野澤　壯監
北海道	昌福寺聖徒団	野中　隆謙
東京都	感通寺聖徒団	新間　正興
三百部以上ご購読		
東京都	日朝寺光明聖徒団	尾崎　妙翠
岩手県	仙壽院聖徒団	芝崎　惠應
四百部以上ご購読		
新潟県	法華寺聖徒団	本田　義昌
五百部以上ご購読		
広島県	常國寺聖徒団	濱田　壽教

（令和五年十二月まで）

毎月ご購読の皆様
ご協力誠にありがとうございます。

妙泉寺祭（日蓮大聖人御会式法要）を開催!!

愛知県名古屋市　妙泉寺聖徒団（石黒泰良団長）

屋台等で賑わう境内

令和五年十一月五日（日）、名古屋市東区妙泉寺（石黒泰良団長）において、『妙泉寺祭（宗祖日蓮大聖人第七百四十二遠忌御会式法要）』が開催された。

この妙泉寺祭は、御会式をお祭りという形で大人から子供まで楽しめるよう、ビンゴ大会やゲーム・屋台等、檀信徒協力のもと手作りで開催し、本年で十八年目を迎える。

御会式法要では、鎌倉時代に今を生きることの大切さを説かれた日蓮大聖人へ報恩感謝を捧げ、うちわ太鼓の音とお題目の声が町内中に鳴り響いた。当日は二百名を超える参拝者が訪れ、本堂内に入り切れず数名は本堂外からの参拝となった。

当山では御会式法要に合わせて宗祖日蓮大聖人のご尊像に『綿帽子（わたぼうし）』をお掛けしている。文永元年旧十一月十一日、安房の国（現千葉県）東條小松原の地にて地頭東條景信らの襲撃（小松原の法難）により日蓮大聖人は額に刀傷を受けられた。岩高山の洞穴で身を休めていた時、通りかかった老婆が「寒い中その傷が風にあたると傷むでしょう」と、真綿を差し出された。このことに由来し毎年綿帽子の奉納者一名を募っている。お寺で行われている一つ一つのことに関わって大聖人を身近に感じて頂きたいとの思いからである。一冬お掛けした綿帽子は各家のご尊像用に切り分けてお配りするが、中には身に着けてお守りにされる方もいるという。

法要後は待ちに待ったビンゴ大会。大人から子供まで豪華景品を獲得しようと数字を見る目は真剣そのもの。

その後、境内においてコロナ禍以降四年ぶりに屋台が復活し、焼きそばや焼き鳥、豚汁、特製スイーツの屋台が提供された。特に豚汁は、檀信徒婦人部の奥様方が前日から仕込んでおり、その味は絶品。小さな子供達には住職とのじゃんけんゲームやスーパーボールすくいで景品をもらいうれしそう。

また、妙泉寺は「災害時協力寺院」となっており、いつ起こるかわからない災害に対し、「いざ」という時の備えの大切さを学ぶ機会として、元自衛官の講師による防災用品の展示に加え、今回はアルファ米作りの体験試食会が催された。

境内の一角では、農業生産者による無農薬野菜販売会が行われ、近所の方や通りすがりの方も大勢訪れた。

大勢の参拝で賑わう御会式法要

石黒団長は、「お寺の役割の一つはコミュニティになること。コロナ禍によって希薄になった〝人と人との繋がり〟を取り戻し、親・子・孫の三世代が集まる機会になれば嬉しいです。」と話す。その話の通り参拝者の三分の一は中学生以下の子供達であった。参拝者の中学生数名は、「来年はスタッフとしてお手伝いしたい」と意気込んでいた。

第百四十三回 日蓮大聖人の歩まれた道

松葉ヶ谷の襲撃（その二）

九識霊断法相伝所所員　小泉　輝泰

「自讃には似たれども本文には任せて申す。余は日本国の人々には、上は天子より下は万民にいたるまで三の故あり。一には父母也、二には師匠也、三には主君の御使也。経に云く、『即ち如来の使なり』と。又云く、『眼目也』と。又云く、『日月也』と。章安大師の云く、『彼がために悪を除くは、すなわちこれ彼が親なり』等云云。しかるに謗法一闡提の国敵の法師原が讒言を用ひて、其義を左右なく大事たる政道を曲げらるるは、わざとわざはひをまねかるゝか」

（下山御消息）

やがて東の空が赤みを帯び始め、夜明けももう間近となると襲撃者たちはその目的を果たせぬままにちりぢりに逃げ去っていきました。追っ手から逃れた日蓮大聖人は丘の上にある岩窟に身を潜め一人法華経を読誦していますと、不思議なことに先程の猿たちが、様々な果物を持ち寄っては大聖人に供養をしたと伝わっています。

既に暴徒は去ったといえあれだけの襲撃の後ですので、まだまだ油断は出来ません。もっとも帰ろうにも、草庵はもう無残に焼け落ちてしまい戻る場所もありません。致し方なくその場にて猿の供養を口にしながら二、三日滞在された後、付近に住む信徒の密かな手助けによって、近隣の山王堂へ逃れたといわれています。

一方の鎌倉市中では、松葉ヶ谷の焼き討ちが大いに話題となり、そこに住む僧侶は焼死したと口々に噂されていました。それを聞きつけた富木氏は、その身を案じて多くの家来をつかわし一体をくまなく捜査させました、そして無事山王堂に逃げ延びた大聖人を見つけ出し、まずは身の安全を考え自身の領地である若宮の館にお連れしたのです。

さて、このお話の重要な登場者（人ではないですが…）である白猿ですが、逸話としては色々と登場するのですが、大聖人の筆としては「猿」のことについては一つも語られたことはありません。いったいどこからこの「猿」が出てきたのでしょうか。

皆さんは猿というと何を連想されるでしょう。「猿飛佐助」？いや少し持って行き方が強引だったでしょうか（笑）。猿といえばとかく忍のイメージが強いと思いますが、しかも「白い」猿ですので、何やら高貴なお方に使えるお庭番衆のような気も致します。

実際にもし名越山の尾根伝いに、現在のおさるばたけ付近にあったであろう山王堂まで至るには、大変険しい山道を通らなければなりません。もちろん今のような街灯などあるはずもなく、真っ暗な山道を僧侶一人匿いながら無事通り抜けるには、よほど特殊な鍛錬を積んでいる者でなければ、とうてい不可能な気も致します。誰にも気付かれぬよう岩穴にそっと身を潜めていた大聖人を、たまたま付近の信徒が見つけるのもちょっと不思議な話です。

はたして白き猿の正体はいったい何者であったのか、大変興味深いところではありますが…。先日ご紹介した法性寺さんの逸話もあることですし、このお話はこれくらいでそっとしておきましょう。

いずれにせよこうした人々の手によって、日蓮大聖人はその尊きお命をまた取り留めることが出来たのです。

一日伝道を開催「九識霊断法に導かれて」

宮崎県　龍雲寺聖徒団（吉田憲由団長）

静かに熱く語る吉野講師

十月三日、宮崎県龍雲寺聖徒団において吉野俊幸上人を講師に迎え四年ぶりに一日伝道が開催された。吉野講師は四回目となり、四年ぶりの吉野先生のお説教を聖徒の皆さんが心待ちにしていた。

子供さんが当会伝統の沙弥校に参加し二所懸命修行に励んだ話で場を和ませて、倶生神月守、九識霊断法により導かれて救われていった体験談を静かに熱く語り聖徒さんの胸に染み込んでいった。信仰の必要性を優しく、わかりやすく説明し、信仰・祈りには感謝の気持ちが大切と語った。

聴聞した聖徒さんは一同に「久しぶりの一日伝道。有難い法話を聞けて良かった」「これからも感謝の気持ちを持って倶生神月守を着帯していきたい」と令和六年に繋がる法話となった。

また、初めてお参りに来た方も多く、倶生神月守の着帯者も増えて信仰の輪が広がる一日伝道となった。

参拝者の笑顔溢れる本堂にて

連合会　会長
全国教誨師連盟評議員
正蓮寺聖徒団団長
大塩　孝信
〒二九〇―〇一五一
千葉県市原市瀬又一三四―一
TEL〇四三六―五二―〇二〇七
FAX〇四三六―五二―二二八八

九識霊断法相伝所伝主
利生寺聖徒団団長
末吉　觀道
副団長
末吉　正道
〒九三〇―〇〇五五
富山県富山市梅沢町三―一六―一〇
TEL〇七六―四二―八七七六
FAX〇七六―四二―八二五〇

連合会　副議長
九識霊断法相伝所所員
妙泉寺聖徒団団長
石黒　泰良
副団長
石黒　友寛
毎月、自坊にて「霊断塾」を開催しております。基礎から学びたい方、霊断布教に燃えるあなたをお待ちしております。
〒四六一―〇〇〇五
愛知県名古屋市東区東桜二―一六―四三
TEL〇五二―九三一―八四九〇
FAX〇五二―九三一―八四九一

連合会　事務局長
照恵寺聖徒団団長
品田　祥皓
〒〇五五―〇一〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二二二―七
TEL〇一四五七―二―三一二七
FAX〇一四五七―二―三七九一

連合会　総務部長
妙照寺聖徒団団長
瀬川　観常
〒二七七―〇九〇二
千葉県柏市大井一〇七〇
TEL〇四―七一九一―六〇一七
FAX〇四―七一九三―〇九六三

連合会　教務部部長
本覚寺聖徒団
伊藤　秀温
〒四六一―〇〇二五
愛知県名古屋市東区徳川二―一六―一六
TEL〇五二-九三六-三五〇九
FAX〇五二-九三六-三五三九

妙福寺聖徒団
団長　**野澤　壯監**
院首　**野澤　文立**
霊断師　**野澤　優介**
霊断法と月守で、新しい明日を切り開いていきましょう
〒三二九―一三二一
栃木県さくら市馬場一〇八―一

本妙寺聖徒団団長
小林　義明
副団長
小林　泰典
〒九五九―二〇二一
新潟県阿賀野市中央町一―三―一
TEL〇二五〇―六三―八九六二
FAX〇二五〇―六二―二五〇二

岐阜県霊断師会会長(常任理事)
常唱寺聖徒団団長
阪口　慈幸
全国の聖徒団皆様、日々倶生神月守の着帯有難う御座います。我々全国霊断師会連合会は、団長上人の会費並びに倶生神月守着帯の聖徒皆様のお布施で運営されております。今後ともご支援宜しくお願い致します。
〒五〇一―三七三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八―二
TEL〇五七五―三三―一四三〇（FAX兼用）

法華寺聖徒団団長
妙恩寺観音講聖徒団団長
阿部　是秀
霊断師　東　**是宏**
霊断師　阿部　**是隆**
霊断師　戸塚　**是祐**
〒〇二八―〇三〇四　岩手県遠野市宮守町下宮守三―六九―一
TEL〇一九八―六七―三一六六
FAX〇一九八―六七―二二二七
一人でも多くの方々に倶生神月守様を身に着けて生きて、幸せをしっかりと体感して欲しいと願っております。

常唱寺聖徒団副団長
阪口　映徳
〒五〇一―三七三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八―二
TEL〇五七五―三三―一四三〇
FAX兼用

本妙寺聖徒団団長
村口　泰慈
副団長
村口　泰淳
〒七九九―一三二二
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八―六六―五四〇九
FAX〇八九八―六六―六一六〇

東京都霊断師会
東部会長　**光枝　浩生**　事務局　**新間　正興**
西部会長　**林　重仁**　**尾崎　妙翠**
南部会長　**室矢　教良**　会計　**一番ヶ瀬妙燈**
北部会長　**村上　慈眼**　**村上　寿麻**

和歌山県霊断師会
会長　**蘆田　恵教**
副会長　**松森　孝雄**　通信員　**野田　寛行**
監査　**守法　秀聡**　通信員会計　**清水　文雅**
柳本　誕忍　**守法　慶隆**
松本　恵昌　幹事　**吉野　俊幸**
青木　章光　幹事　**守法　延康**　**清水　香光**

九識霊断法相伝所所員
経蔵寺聖徒団団長
望月　龍賢
〒三九五―〇〇〇三
長野県飯田市上郷別府一七六八
TEL〇二六五―二二―六八五〇
FAX〇二六五―二二―六八五八

法光寺聖徒団団長
正蓮寺聖徒団副団長
大塩　裕孝
〒二九〇―〇一五一
千葉県市原市瀬又一三四―一
TEL〇四三六―五二―〇二〇七
FAX〇四三六―五二―二二八八

大分県霊断師会
会長　**廣田　学良**　会員　**建　栄子**
副会長　**飯盛　義教**　会員　**三ヶ尻りつ子**
監事　**杉本　顕誠**　会員　**三ヶ尻和生**
監事　**三ヶ尻学生**　会員　**杉本　尚子**
事務局　**後藤　正軌**　会員　**廣田　祥子**
会員　**建　光行**　会員　**廣田　千城**

宮・鹿・沖霊断師会
顧問　**吉田　海心**　会計　**吉良　貴徳**
監事　**片寄　智雄**　通信員　**片寄　智康**
会長　**吉田　静正**　会員　**白水　裕子**
事務局　**吉田　憲由**　**海野　資子**
吉田　憲史

本東寺聖徒団団長
吉田　海心
宮崎・鹿児島・沖縄県　霊断師会会長
吉田　静正
〒八八二―〇〇六一
宮崎県延岡市松山町一一三三
TEL〇九八二―三二―三八二七
FAX〇九八二―三三―八七九〇

円融寺聖徒団団長
山口　忠信
〒六七五―二三〇一
兵庫県加西市北条町栗田三三八
TEL〇七九〇―四二―二一一八
FAX〇七九〇―四二―〇三九一

連合会 副会長
日蓮宗宗会議員
実相寺聖徒団団長
川越少年刑務所　教誨師会　理事
松永　慈弘
〒三三三―〇〇〇四
埼玉県川口市領家二―一四―一一
TEL〇四八―二二三―四五六六
FAX〇四八―二二三―六八〇七

連合会 副会長
宗門史跡 常國寺聖徒団団長
濱田　壽教
〒七二〇―〇四一一
広島県福山市熊野町甲一四八一
TEL〇八四―九五九―〇〇〇六
FAX〇八四―九五九―一二〇六

連合会 終身名誉顧問
妙本寺福徳聖徒団団長
吉田　亮善
〒六九一―〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL〇八五三―六六―〇五六八
FAX〇八五三―六六―〇五七一

連合会 議長
制度調査委員
本妙寺聖徒団団長
若林　壽学
〒二七〇―一一三七
千葉県我孫子市岡発戸一三八〇―七
TEL〇四―七一八三―八〇二七
FAX〇四―七一八五―一五三六

連合会 伝道部長
長榮山妙福寺聖徒団団長
大森　映孝
〒三二九―一二一一
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一四
TEL〇二八―六七六―一二四七
FAX兼用

連合会 教宣部長
龍雲寺聖徒団団長
吉田　憲由
副団長
吉田　憲史
教誌・よろこびを読んで
一緒に信仰を学びましょう！
〒八八九―一二〇一
宮崎県児湯郡都農町川北三七二九

連合会 教学部長
龍光寺聖徒団団長
松森　孝雄
〒六四〇―一一三一
和歌山県海草郡紀美野町動木一四九五
TEL〇七三―四八九―五一六三
FAX〇七三―四八九―五二六二

青森県聞法寺聖徒団
祈　倶生神月守　三千体達成成就
連合会霊断部長住職　**工藤　堯慎**
院　首　**工藤　堯幸**　護持会々長　**最上　一**
総　代　**三浦　隆徳**　**木浪　達義**
信行会々長　**松山　渉**　副会長　**最上　一光**
青年部部長　**張間　博義**
外信徒　一同
〒〇三〇―一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田五一―二
TEL〇一七四―二五―二七一二
FAX〇一七四―二五―二六〇七

長栄寺院首
光枝　海元
東京都東部霊断師会会長(理事)
長栄寺聖徒団団長
光枝　浩生
〒一〇〇―〇四〇二
東京都新島村本村三―一―四
TEL〇四九九二―五―〇一六八
FAX〇四九九二―五―〇一一一

日蓮宗青森県霊断師会
会　長　**飛鳥　玄龍**
副会長　**工藤　泰輝**
総務担当　**川上　洋行**　幹事長　**對馬　央丈**
庶務担当　**葛原　圭静**　霊断担当　**工藤　堯慎**
会計担当　**木立　智大**　伝道担当　**横山　秀悠**
通信員　**山崎　随祥**　**小野　泰惇**
顧　問　**工藤　堯幸**　**小野　泰幹**　**小山　威光**
会員三十五名。

広島県霊断師会
会　長　**濱田　壽教**　通信員　**堤　祐弥**
副会長　**根師　哲朗**　局　員　**根師　瑞香**
副会長　**野田　佳朗**　局　員　**濱田　蓮未**
事務局長　**冨安　妙照**
会員一同

日蓮宗島根県霊断師会
会　長　**新間　信應**
副会長　**田平　義成**
事務局長　**新間　隆登**
会員一同
〒六九〇―二四〇四
島根県雲南市三刀屋町三刀屋一一六九
TEL〇八五四―四五―三六五七
FAX〇八五四―四五―三六六六

本成寺聖徒団団長
天野　行淳
副団長　**天野　行佑**
〒四六五―〇〇一四
愛知県名古屋市名東区上菅一―三〇三
TEL〇五二―七七一―七四七四
FAX〇五二―七七一―七五七二

九識霊断法相伝所所員
日蓮宗宗会議員
顕本寺聖徒団団長
小泉　輝泰
〒二九五―〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇―一
TEL〇四七〇―四四―一〇六二
FAX〇四七〇―四四―一五二四

神奈川県霊断師会会長
本典寺聖徒団団長
戸田　教栄
〒二五六―〇八一六
神奈川県小田原市酒匂三―一―十七
TEL〇四六五―四七―四八一三
FAX〇四六五―四九―三五三二

妙親寺聖徒団団長
廣田　学良
副団長　**廣田　千城**
廣田　祥子
〒八七〇―〇八三四
大分県大分市上野丘西五―五
TEL〇九七―五四五―〇七〇八(FAX兼用)

追分教会聖徒団団長
高鍋　鳳憲
〒五一〇―〇八八二
三重県四日市市追分二―五―二
北海道厄除け星祭り祈祷会　十月午後一時
『富良野市南コミュニティーセンター』

青森県霊断師会会長(常任理事)
霊断法解説講師
道円寺聖徒団団長
飛鳥　玄龍
副団長　**飛鳥　玄宗**
〒〇三八―三一一二
青森県つがる市木造川除栄盛七

湖北第一法華道場
本年創立七〇〇年
小足山常昌寺聖徒団団長
早瀬　光玄
〒五二六―〇八四一
滋賀県長浜市新栄町四〇二一
TEL〇七四九―六二―四四九二(FAX兼用)

真成寺聖徒団団長
谷川　寛俊
副団長　**谷川　寛敬**
〒九三七―〇八六七
富山県魚津市真成寺町四―六
TEL〇七六五―二二―二二六八
FAX〇七六五―二二―二二六八

最上稲荷 蓮照院
須藤　慈慧
〒七〇八―〇〇七四
岡山県津山市福渡町五四番地
電話 〇八〇―三八〇四―一七〇七

日朝寺光明聖徒団団長
尾崎　妙翠
〒一九二―〇〇五六
東京都八王子市追分町六―一五
TEL〇四二―六二六―一〇一九
FAX〇四二―六四九―六五一〇

新年も　家族みんなで　お題目
いつも「教誌よろこび」をご愛読いただき、ありがとうございます
みなさまからの投稿を募集しています
〈体験談・感想文・聖徒さん紹介・全国のよろこびちゃん等〉どしどしお寄せください

全国霊断師会連合会
霊断院　教宣部

みおしえ

「法華経を余人のよみ候は、口ばかりことばばかりはよめども心はよまず。心はよめども身によまず。色心二法共にあそばされたるこそ貴く候へ」
（令和新修　一〇一七）（昭和定本　五〇九）

『土籠御書』　文永八年（一二七一）聖寿五十歳

訳：世間一般の人々は、法華経を声に出し意味の上だけで読むことはするが、心では読まない。そしてまた、心で読むことまではしたとしても身に読むということ、すなわち、法華経に説かれていることを自らの行動で実践するという読み方まではしていない。色心の二法、すなわち体と心の双方にわたって法華経を読まれてこそ、まことに尊いことである。

連合会教務部　部員
千葉県全昌寺聖徒団団長
亀井教見

「私が誰かの仏さま」（その二）

前回までの内容の再確認になりますが、大きく要約すると法華経には次のことが説かれております。すなわち、私達はいつでもどこでもご本仏の慈悲の光に温かく照らされております（「私のそばに仏さま」）。そしてまた、その光は私達の中にも元々ございます。誰もが仏であり、誰もが尊く必要で大切な存在です（「私の中に仏さま」）。さらには、内なる光を外へと放ち、誰かを温かく照らすことができます。仏の行いを、私達もまたできるわけです（「私が誰かの仏さま」）。

ご本仏そして日蓮聖人の光を受け継がれ、これまで多くの先師の方々が法華経・お題目を口に心に、そして体でも読まれてきました。その中のお一人に、霊断師会を創始された行道院日煌上人がいらっしゃいます。日煌上人は、「私が誰かの仏さま」となるための、よりわかりやすい実践方法を示して下さいました。それが「四誓願」です。すなわち、「誓って、南無妙法蓮華経の道を、持ち奉らん。誓って、南無妙法蓮華経の道を、行い奉らん。誓って、南無妙法蓮華経の道を、護り奉らん。誓って、南無妙法蓮華経の道を、弘め奉らん」の四つの誓願です。難しく思われがちな法華経の思想は、日常の日々の生活に落とし込むとこの四つに集約されます。

ここで重要となるのが、南無妙法蓮華経の「道」という点です。日煌上人はこう説かれております。「実にこの『道』ということこそ、すべての人間をつなぎ、すべての人を一つのものにまとめあげる唯一の方法なのであります。『道』が無ければ、人と人とは結ばれないのであります」。まさに、ご本仏そして日蓮聖人によって示された南無妙法蓮華経の道があるからこそ、この文章も皆様に読んでいただけております。九識霊断法、倶生神月守、盛運祈願会、ご祈祷、葬儀等々…様々なことをご縁に、南無妙法蓮華経の道へとたどり着かれたことと思います。人によっては道に入るきっかけはごく個人的な事情だったかもしれません。しかし、自身の本当の姿は仏であり、自らもまた誰かに光を与えることができます。南無妙法蓮華経の道を誰もが歩み、誰もが仏の行いをし、今この場所こそを仏の世界とすること、それが日蓮聖人の目指された「立正安国」の理想です。

なお、四誓願の具体的な内容については、紙面の都合上次回になりますこと、何卒ご了承下さい。

今月もまた最後まで読んでいただき誠にありがとうございます。

おらが寺の守護神（第十九回）

観世音菩薩像

新潟県　法華寺聖徒団（本田義昌団長）

今からちょうど八年前の平成二十九年正月五日。法華寺「新春福まき祈願祭」で檀信徒二百名が見守る中、僧俗一体で開眼された法華寺の観世音菩薩像。

法華寺は慶長三年（一五九八）創立。本年で四二六年の歴史を持つが、観音様は当山に来られてから八年と歴史が浅い。どういった御縁で勧請されたのか？

住職がそれとなしに山形の仏師を訪ねた時のことである。店頭には獅子の上に乗る文殊師利菩薩像が居らっしゃった。本田団長は【もうこの仏像から眼が離れない。まるで仏像に心を奪われたようだ】

団長は霊断布教や御祈祷などで檀信徒の苦悩の声を目の当たりにして、共に苦しみ御題目を唱え、解決の糸口を試行錯誤していた。

そんな折に法華経第二十五章・観世音菩薩普門品に説かれる観音様は「衆生の苦悩の声を観て救い出し、相手が解り易い様に姿を変え貴方の背中を押す。」そんな観音様を探しに仏師の元を訪ねたのである。

半年に及び仏師とのやりとり。新たに制作して頂く観音様のお姿を検討。

その折にも団長は【あの文殊さんのお姿と同じに】と繰り返すのであった。仏師はあまりにも「気がかりで」ことの真相を素直に語った。『あの文殊さんは店頭に十数年いらっしゃる。普段だと一年と経たない内にお客様の元に納まるのが通例であったが、あの文殊様はずっとこの店から離れない。唯一この御仏像と出会い、ここまで眼を奪われたのは本田住職のみである。実はこの仏像は「髪仏（観音様の象徴）」がある。自分で文殊様を彫っておきながらお姿は観音様であった。本田住職が「どうしてもこのお姿で」とおっしゃられる様なら、失礼を承知の上で獅子の台座を蓮華に替えて住職の元へ納めさせては頂けないだろうか？』

本田団長は即答で【願ったり・叶ったり。こんな嬉しいことはない。】これが法華寺に観音様が納まった御縁のであった。

図らずも観音様が法華寺に鎮座されたのは平成二十九年一月五日。この日は本田団長の祖父、松浜法華堂開山・本田泰元上人の御命日であった。手足が不自由ながらも書は達筆で絶対に弱音を吐かず、その信念と読経力は松浜の町をあげて大切にされる僧侶であったそうな。

どんな困難にも立ち向かい、精進を怠らない姿を持つ僧侶と仏像。点と点が繋がり輝く光明となって現れたのが、この観世音菩薩像だったと確信した。

観音様を迎えて以来、御祈祷でも苦しむ方は皆無。霊断布教に於いても、解決の糸口と、進むべく道が自然と切り開かれるようだと団長は語る。

観音様に御縁を頂き平成二十九年度大荒行堂（再々行）の修行へ観音様をお連れし、本年令和六年の荒行堂に向けて檀信徒からは「今まで護ってもらった団長を今度は我々檀信徒がお守りしたい！」と対になる観世音菩薩像を寄進する発案がなされ、資金を調達。

昨年の四月に同仏師へ制作を依頼。本年（令和六年）五月には法華寺の御宝前に納まる予定。十一月から団長五百日目の最後の荒行堂に共に修行をされる予定だ。

様々な御縁が繋がり檀信徒のみならず、寺と団長と檀信徒を護る二体の観世音菩薩像、完成が楽しみである。

※新たな御仏像は法華経の教えをもって（左手）、進むべく方向を示し（右手）すぐに行動（守護）できるように右足をさげ御守護を戴けるようにお願いした。

身延山でお会いしましょう

総門

身延山の総門は二十八世日奠（にちでん）上人の代、寛文五年（1665）三河国刈谷城主三浦志摩守明敬（みうらしまのかみあきたか）公の母寿応院殿の丹精によって建立された。門柱に刻まれた丸に三の字は三浦家の家紋。

三十六世日潮上人の代に改修され、その折に日潮上人筆の開会関の大扁額が掲げられた。開会関（かいえかん）とは、妙法五字の尊い教えで、すべての人々の心を開き、平等に救い、仏と同じ寂光土に入ることが出来る関門であるという意味。

進め！繋がる霊断師

東京都新島村
長栄寺聖徒団 副団長
令和五年沙弥校主事
光枝妙珠

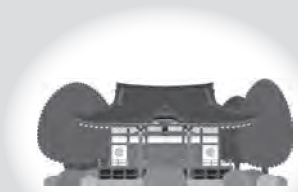
初めて沙弥校のお手伝いをした時に参加した子が立派に成長し、現在沙弥校の先生として戻ってきてくれました。

全国各地で沙弥校・僧風林の卒業生が活躍している姿をみて感激です。

お寺の女の子でも、お祖師様のお弟子になりたい！と思えるようになってもらえたらと先生を続けています。

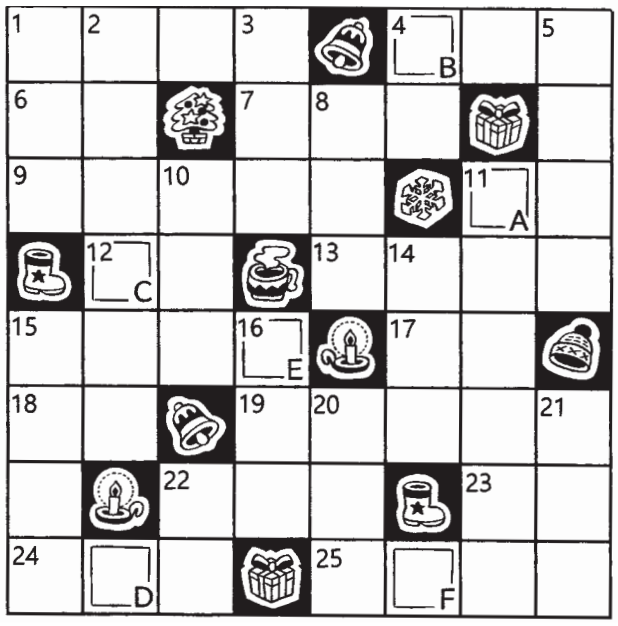
小さな子どもたちから教えられることが沢山あり、沙弥校に携われることが私の生き甲斐です！

今年も七月に沙弥校・僧風林を開催します。ぜひ、皆様の聖徒団のお子様を私達にあずけて下さい。



脳トレクロスワード

答　A　B　C　D　E　F



■ヨコのカギ
1　なつかしのＣＭソング「……用心火の用心」
4　冬至の日のお風呂は？
6　事情が複雑、…曲折
7　じゃんけんのチョキ
9　レコードを収容する
11　大型のサメの俗称
12　……サイド、……サンキュー
13　元禄15年12月14日、赤穂浪士がやりました
15　井戸などにたまる水
17　時……。快……電車
18　餅つきの道具の一つ
19　病人が入院する部屋
22　英語だとペイン
23　夜になったばかりの頃
24　原付バイクは２段階……
25　三浦雄一郎、植村直己さん共通の肩書は？

■タテのカギ
1　12月22日、昼がいちばん短い日
2　一〇八回の音が鳴りおわると新年です
3　床屋、今は……店
4　ロビンフッドやウィリアムテルは……の名手
5　コアラの好物
8　甘みの強い調味料
10　状況に応じて対処すること、……バイ……
11　作り事。小説
14　地下の層
15　太陽から3番目の惑星
16　形がゆがんでいます
20　物やお金の使いみち
21　あとから加えること
22　和室では脱ぎます

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

よろこびちゃんのクッキング

鶏手羽とジャガ芋の白ワイン煮込み

〈材料　2～3人分〉
鶏手羽元6本、ジャガ芋2個、玉ネギ1個、ニンニク1片、塩・こしょう各適量、A（コンソメ1個、お湯200cc）、サラダ油大さじ1、白ワイン100cc、あればローリエ1枚、レモン汁大さじ1

〈作り方〉
①手羽元はサッと水で洗い、キッチンペーパーでしっかりと水気をふき取る。塩とこしょうを全体にすり込む。
②ジャガ芋は皮をむき、2～3等分に切る。玉ネギは皮をむき、芯をつけたまま縦4等分に切る。ニンニクは薄切りにする。
③フライパンでサラダ油を中火で熱し、手羽元を焼く。全体に焼き色がついたら、②を加えて炒め合わせる。
④玉ネギに焼き色がついたらAと白ワインを注ぎ、半分にちぎったローリエを加える。煮立ったらふたをして、弱火で10分蒸し煮にする。
⑤レモン汁を加え、ふたをしてさらに6～7分蒸し煮にする。

〈ポイント〉
白ワインは辛口を選んでください。

みなさん自慢の郷土料理レシピを募集します。郷土料理のレシピと、完成した料理の写真一枚を添付し、九段事務所まで郵送またはメールでお送りください。

★抽選で毎月3名様に素敵な景品をお送りします。
（締切は毎月20日消印有効）
①郵便番号　②住所
③氏名　④電話番号
を明記の上、葉書にてお申し込みください。
【答えの送付先】
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
霊断師会九段事務所　宛

◎先月号の答えは
「タベホウダイ」
十一月号クロスワード当選者
①和歌山県海草郡　山本やよひ様
②岩手県釜石市　川崎壽子様
③東京都世田谷区　松村照子様

※景品は「よろこびちゃんトートバッグ」です。皆さんどしどしご参加下さい。

景品が当たりました。

スマホかパソコンで検索してみてね

リズムに合わせて楽しく運動！簡単体操のススメ！

岩田先生の心も体も生き生き！

宮崎県　龍雲寺聖徒　薬師整骨院　岩田行敏院長

運動習慣の一つとして、各地にご当地体操があることをご存知ですか？

PR活動の一つとして地域の特徴を活かしたオリジナリティあふれる振り付けや歌詞などを作成し、親しみやすさを持って運動してもらおうという試みです。

★やきとりじいさん体操（福島県）

「焼き鳥、焼き鳥、焼き鳥じいさん」で始まる焼き鳥じいさんの曲に合わせて、体を動かすやきとりじいさん体操。

最初のコマネチのポーズで思わず笑ってしまうのですが、その後楽しい気分で体操を続けられるようにと言うプログラム構成なのかもしれません！

★はっぱっぱ体操（千葉県柏市）

「かしわのは」にかけて作られた、はっぱっぱ体操。

右手と右足、左手と左足を同時に出して歩く「なんば歩き」や、指先まで細かく動かす動きなど、体だけではなく脳の反射神経も一緒に鍛えられるのが特徴です。

運動習慣の一つとして気軽に始められるご当地体操・・・自宅で一人で行うもよし、地域の人たちとコミュニケーションをとりながら楽しく体を動かすのも良いですね。

運動として簡単体操を始める前にはウォームアップをしっかり行うこと、また痛みの出る動作は避けて、自分のできる範囲で運動するように心がけましょう。

インターネットで動画なども見れますので、手軽な運動習慣の一つとして、生活の中にほんの数分、簡単体操を取り入れてみてはいかがでしょう！

その他の主なご当地体操！

○あばしり健康カニチョッ筋体操（北海道網走市）
○健康雪かき体操（青森県）
○花笠ダンベル体操（山形県尾花沢市）
○忍にん体操（三重県伊賀市）
○とんとん体操（大阪府富田林市）

よろこび法話

信じ合う心

九識霊断法相伝所員
愛知県霊断師会会長
愛知県　妙泉寺聖徒団団長
石黒泰良

九識霊断法でのご相談

「お恥ずかしい話なのですが、身内の恥をどなたにも相談出来なくて長年困っております。」

数年前、五十台半ばのご夫妻が当寺の聖徒さんに紹介されて来寺されました。二十五歳になる息子さんの相談です。

「息子は高校を中退してから一度も仕事をしたことがありません。高校の時、友達や教師に暴力を振るって問題となり、中退しました。家でも何か気に食わないことがあると物を壊したりと手に負えません。毎月十万円ほど小遣いを渡しています。何にお金を使っているのか分かりませんが、日々筋肉トレーニングばかりしています。仕事の話をしても全く聞く耳をもたず、どうしたら良いのか分かりません。」

私達霊断師にはこのような相談が数多く寄せられます。九識霊断法によって解決方法が導き出されるからです。そのためには本人の来寺がより効果的です。本人の来寺を促すと、「お寺に来るような子ではない」と両親は消極的になりました。

それではと、九識霊断法を行い、息子への接し方や両親の言動、日々の信仰と倶生神月守りの加護について指導しました。

信心ということ

それから一年ほどが経過し、再度霊断の依頼です。

「お上人のご指導通りに行い、日々の信行も欠かしておりませんが、一向に変わりません。これだけ信心しているのに…。」

さて、信心とはいかなるものでしょう。

「信じています」という自分の心を、信心とは言いません。自分の心で信じていますというのは、自分の都合で信じているのであり、結果次第でどうなるかわかりません。本当の信とは、自分の方から信じるのではなく、確かなもの・決して裏切らないもの・安心できるものに遇うことにより生まれるものです。子供が親を信じるのではありません。親の変わらぬ愛情が信じさせるのです。生徒が先生を信じるのではありません。先生の人柄や人格が生徒を信じさせるのです。同じように、私達がご本仏様の決して変わらない慈悲の心が私に至り届き、信じさせて下さるのです。信心とはご本仏様からたまわるものです。

親子のつながり

「わかりました。今度は息子さんをお寺に連れて来て下さい。ご両親が誘えば、息子さんは必ず応じるはずです。」

後日、両親に連れられて本人が来寺しました。

最初は威圧的な様子でしたが指導していくうちに、両親（特に父親）や弟への憎しみを吐き出すようになり、愛されなかった・認めてもらえなかった苛立ちの行き場が暴力になっていたと、深く反省するようになりました。

ある日、「よくお寺に来ることを決意したね。」と話しかけると「自分が小さい頃から高圧的だった父親がお寺に行くようになって変わった。自分も変われるかも知れないと思った。」

父親の姿を見て父親を少し信じて見ようと思ったそうです。

人間の愛情は眼に見えません。眼には見えませんが、その人の温もりや優しさは身に感じます。

同じようにご本仏様の慈悲も眼には見えませんが、いつでもどこでもどんな時でも私を支え、決して見捨てないという慈悲の心で見守ってくれています。

しかし、それらを感じるためには互いに信じ合うことが絶対条件です。

本来家族は唯一、信じ合える関係。ご本仏様はそれを私達に気付かせてくれる存在なのです。

その後、前向きに仕事をしようと面接を受け、建築会社に採用が決まりました。

体力には自信があると自負していたこともあり、職場で力仕事を主に任され重宝されると、〝必要とされた〟〝褒められた〟と報告してくれるようになりました。

今は、クレーン運転士の免許を取ると張り切っています。倶生神月守を身に着けて。

本誌イラスト　小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol.122

三重県伊賀市
上行寺聖徒団
（田中正法団長）

木戸（キド）蘭人（ラント）くん　小学校五年

勉強も野球も頑張ってます！

倶生神月守（ぐしょうじんつきまもり）

毎月身延山で開眼・祈願し皆様の聖徒団に届きます

●家族みんなで持ちましょう。
●経営者の方は、是非従業員皆で着帯しましょう。
（異体同心の職場になります）

砥森山
法華寺
生きて救われの道場
住　職　阿部 是秀
副住職　阿部 是眞
〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰
「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団

五木田　晴夫さん
今度ぜひ身延大会に一緒に行きたいと思います。
三松山 長栄寺
〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺

日蓮宗霊断師会連合会　伝主
利生寺聖徒団　団長
末吉　觀道
〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776
FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会連合会　会長
正蓮寺聖徒団　団長
大塩　孝信
〒290-0151　千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288